



**カープレミア**

2023年3月期

# 決算説明資料

2023年5月2日

【東証プライム/7199】

プレミアグループ株式会社



# カープレミア

1. 2023年3月期決算概要
2. ファイナンス事業
3. 故障保証事業
4. オートモビリティサービス事業
5. カープレミア事業
6. 2024年3月期業績・配当予想
7. 新中期経営計画 -ONE&ONLY 2026-
8. Appendix

※決算説明動画はIRサイト (<https://ir.premium-group.co.jp/ja/library/movie.html>) にて配信しております。

## 市場環境

- 中古車価格は**正常化**の兆し、**マーケット状況**は第4四半期にかけて徐々に回復傾向
- 金利上昇のトレンドではあるが、短期的には**急激な上昇は見られない**

## 当社KPIと業績

- クレジット/故障保証ともにトップラインは**2桁成長**を記録
- 収益/利益も順調に推移し、税引前利益は前年**+33.0%**

## 中期経営計画 -VALUE UP ↗ 2023- の総括

- カープレミアクラブ（会員組織）の**構築**に注力し、**約3,000社**まで拡大
- お客様向けサイト「**カープレミアサイト**」を開設し、プラットフォーム構想の基盤を構築
- 23/3期で最終年度となるため、新たな**中期経営計画**を同日開示

## 新 中期経営計画 -ONE&ONLY 2026-

- 最終年度26/3期において、**営業収益440億円、税引前利益102億円**を見込む
- あらゆるモビリティサービスを手掛ける**カープレミア事業モデル**の確立
- 既存事業の**持続的成長**とモビリティ各事業の規模拡大、**DXによる業務効率化** ※詳細はP.25



# 1. 2023年3月期決算概要

- **新車生産**は概ね回復。中古車市場も第4四半期にかけて徐々に**回復傾向**
- クレジット/故障保証ともに主要KPIである取扱高が**2桁成長**を記録

## マーケット

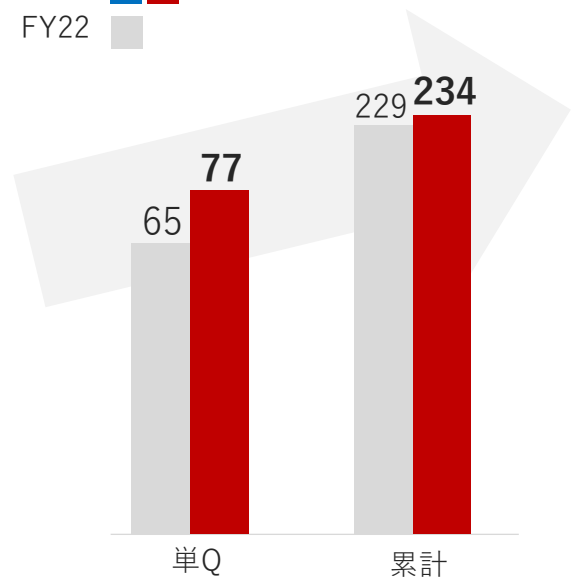
(グラフ単位：万台)

### 新車販売台数

前年比

単Q **+18.1%** 累計 **+2.4%**

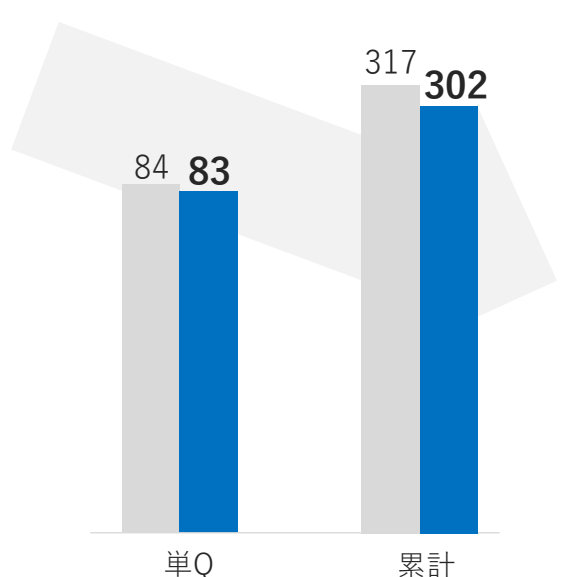
FY23 ■  
FY22 ■



### 中古車登録台数

前年比

単Q **▲2.0%** 累計 **▲4.6%**



## KPI

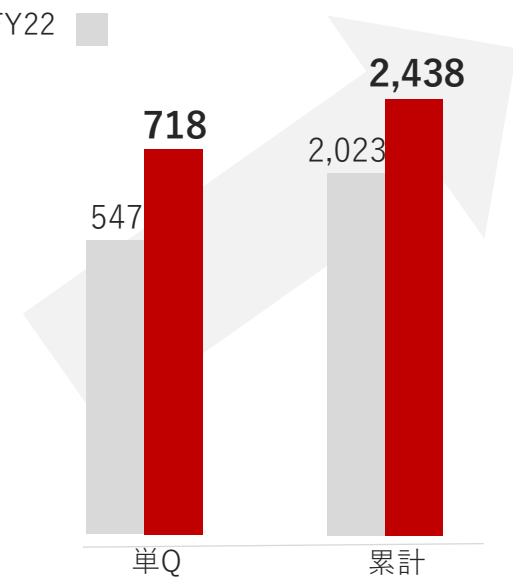
(グラフ単位：億円)

### クレジット取扱高

前年比

単Q **+31.1%** 累計 **+20.5%**

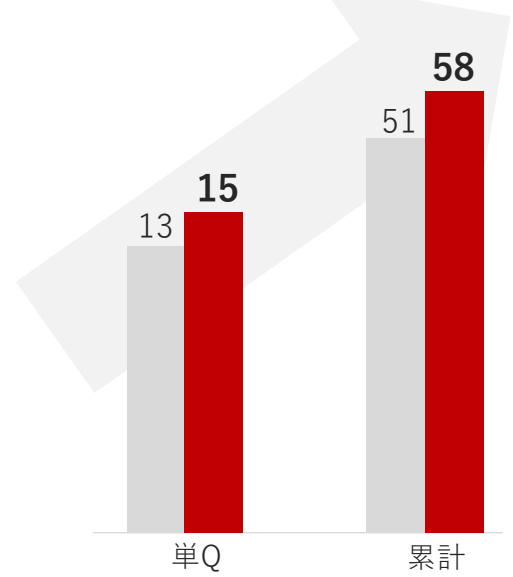
FY23 ■  
FY22 ■



### 故障保証取扱高

前年比

単Q **+11.9%** 累計 **+11.9%**



(注) FY22.4Q 新車販売台数：単Q\_65万台（前年比▲14.8%）、累計\_229万台（前年比▲8.4%） 中古車登録台数：単Q\_84万台（前年比▲8.3%）、累計\_317万台（前年比▲5.8%）

- 各セグメントが順調に伸長し、上場来 **6期連続増収増益**。税引前利益は前年**+33.0%**
- 将来収益（繰延収益）も堅調に**積み増し**。来期以降の**安定収益**をBSにストック（**439億円**）

## 業績

(グラフ単位：億円)

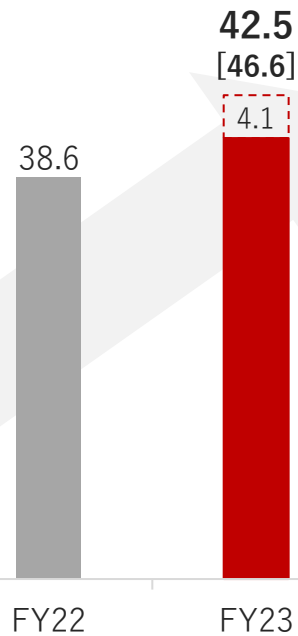
### 営業収益

前年比  
**+20.9%**



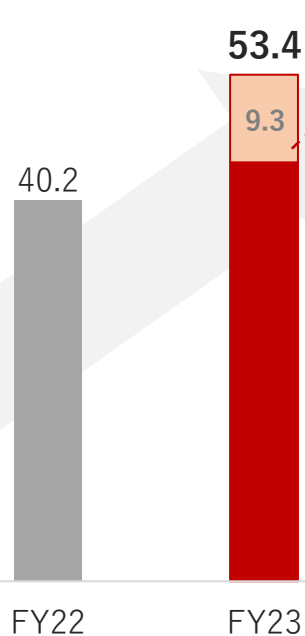
### 営業利益

前年比  
**+9.9%**



### 税引前利益

前年比  
**+33.0%**



## 将来収益（繰延収益）

### 全体

**439億円**  
前年 **+21.5%**

### ファイナンス

**368億円**  
前年 **+22.5%**

### 故障保証

**66億円**  
前年 **+16.2%**

### その他

**4億円**  
前年 **+25.3%**

■ 中長期的な成長に向けて、ステークホルダーに向けて様々な施策を実施

主なトピックス

カープレミア

テレビCMの放送



「カープレミア」の認知拡大のため、テレビCM放送を開始。カープレミアクラブ(会員組織)の拡大に寄与  
※施策の詳細はP.32

カープレミア

中期経営計画  
最終年度



税引前利益49億円目標に対し53億円の実績。コロナ禍、半導体不足により中古車市場が想定外に低迷したが、利益目標は大きく達成

ESG

アースクリーン活動  
への参加



環境汚染に対する意識の向上と持続可能な社会づくりに貢献するため、石垣島アースクリーン活動へ参加

人的資本

新卒初任給の  
引き上げを実施

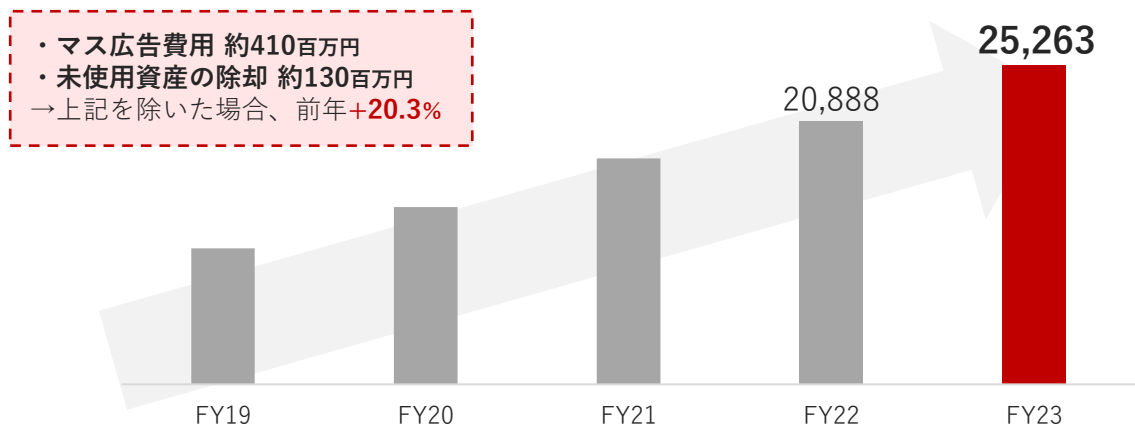


従業員のWell-being向上及び優秀な人財の確保と定着率向上を目的とし、新卒初任給最大33,000円(増加率17.4%)の引き上げを実施

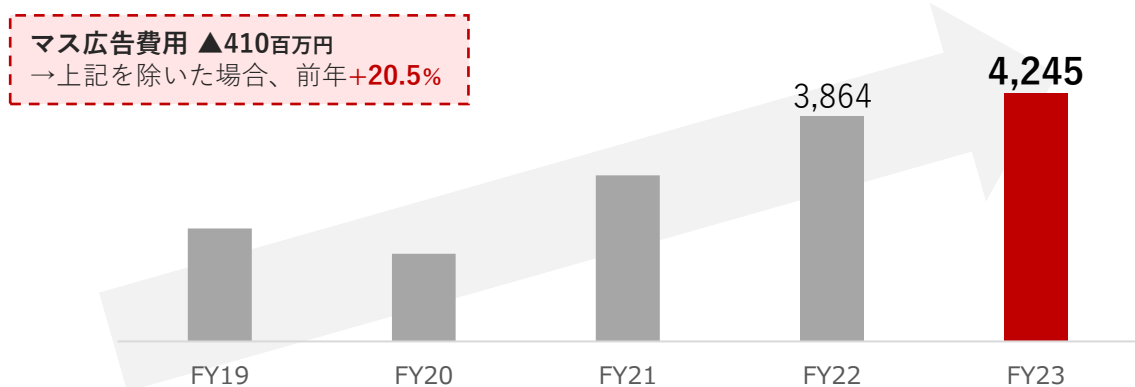
- **営業収益は前年 + 20.9% の 252.6 億円**
- **マス広告等の先行投資 (約 4 億円) を実施しながらも、営業利益は前年 + 9.9% と成長を維持**

	2022年3月期	2023年3月期	前年比
営業収益	20,888	25,263	+20.9%
営業費用	17,024	21,018	+23.5%
営業利益	3,864	4,245	+9.9%
税引前利益	4,017	5,344	+33.0%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,941	4,005	+36.2%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	76.46	103.45	+35.3%

営業収益



営業利益



(注) 1. 前年の営業収益・費用は表示方法の変更により、一部組替をしております。  
2. 会計上の見積りの変更による保険資産評価益 (FY20) 及び負ののれん発生益 (FY21) は非経常的な項目として営業利益に含めておりません。  
3. 2022年9月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、FY22.4Qの基本的1株当たり当期利益は株式分割が行われたと仮定して算出しております。



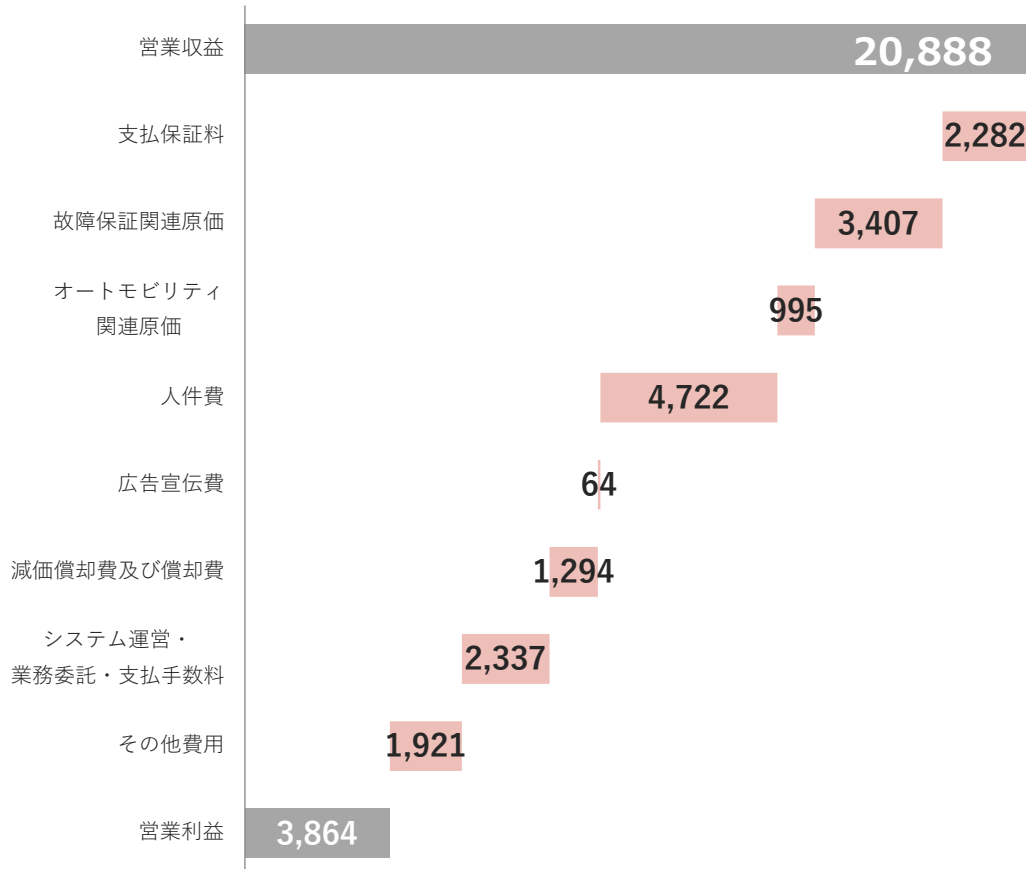
# 営業費用（内訳）の推移



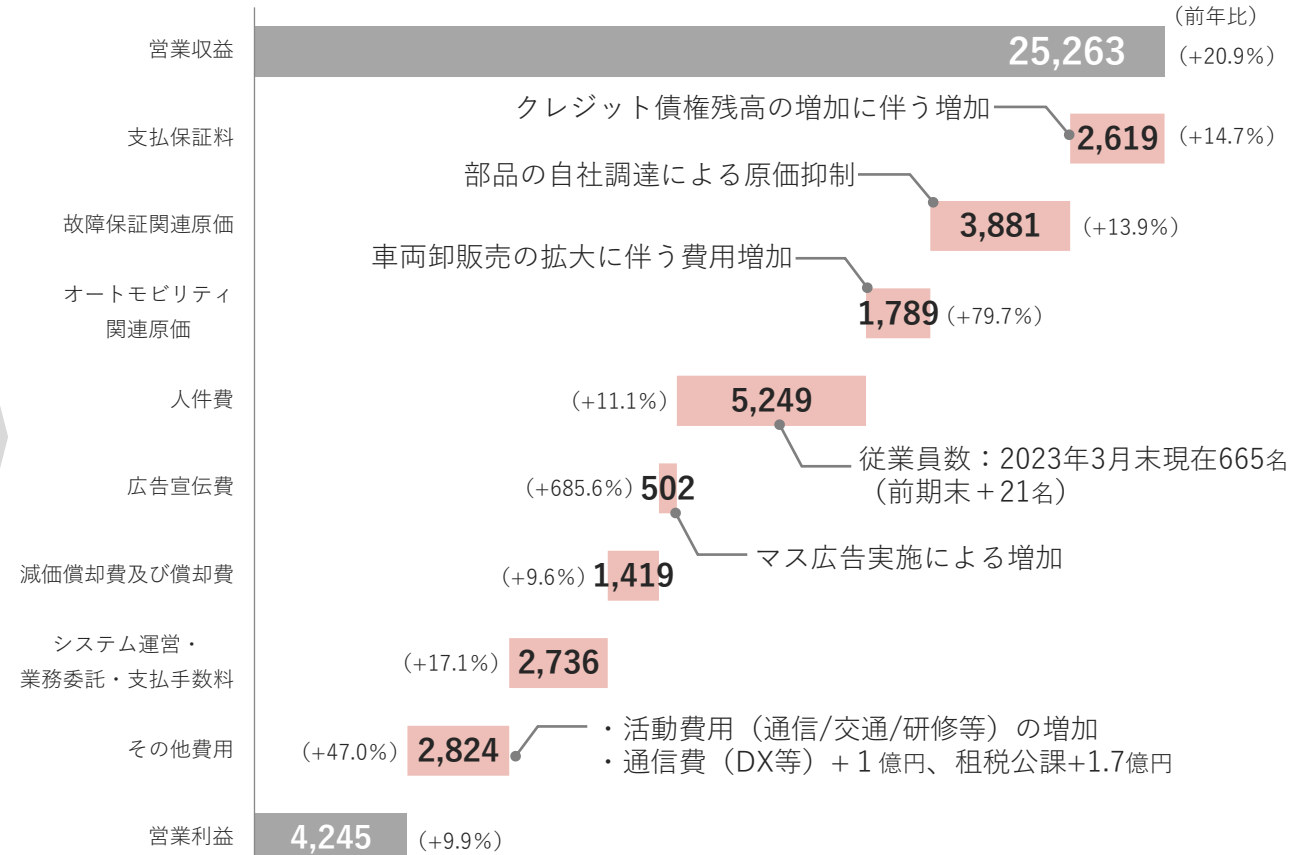
(単位：百万円)

## ■ 中長期的な成長に向けて、マス広告等による先行投資を実施

FY22 営業費用  
17,024百万円



FY23 営業費用  
21,018百万円 (前年 +23.5%)



(注) 1. 前年の営業収益・費用は表示方法の変更により、一部組替をしております。  
2. 速報値のため、修正・変更が生じた際は当社HP上にて速やかにお知らせいたします。

# セグメント別業績

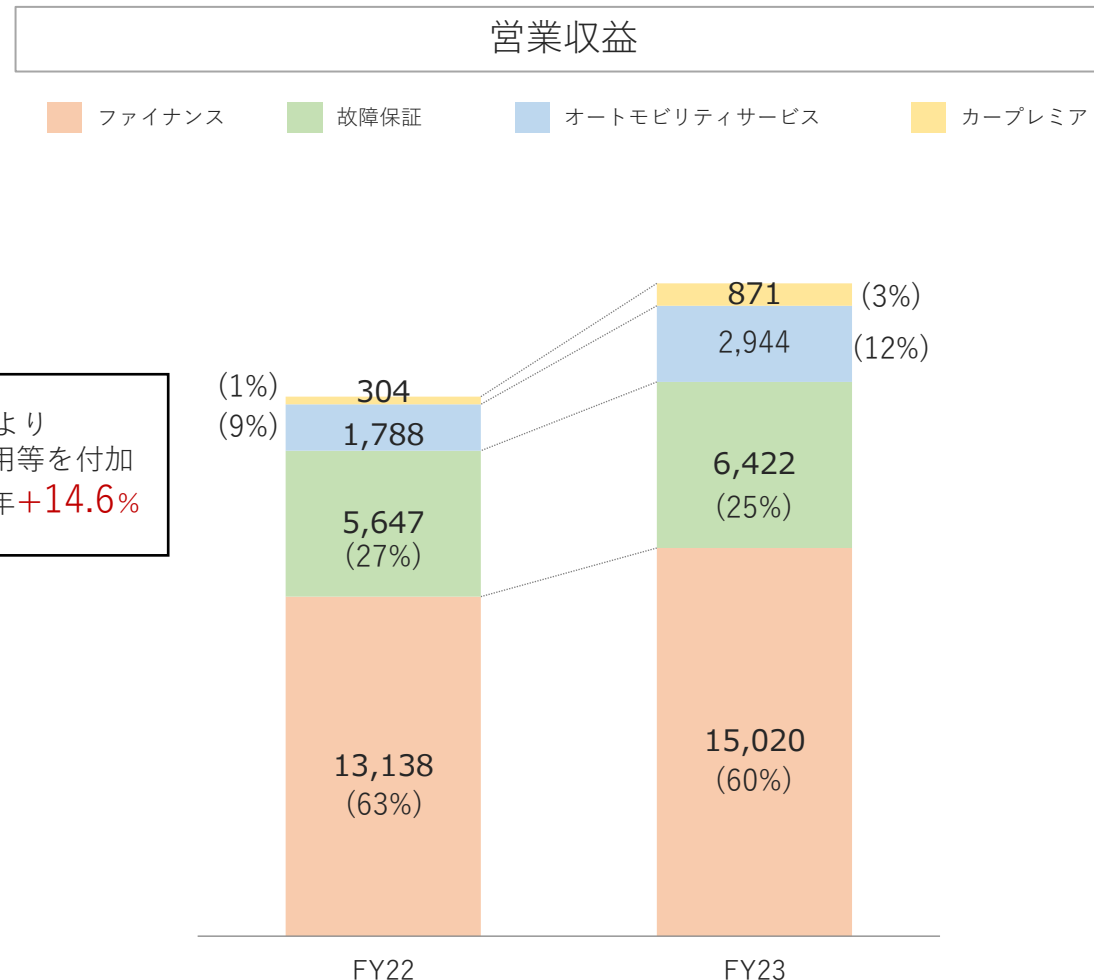


(単位：百万円)

- 各事業とも順調に伸長し、営業収益は**過去最高**を更新
- 営業収益のうち、**オートモビリティサービス事業/カープレミア事業**が占める割合が**増加**

	FY23	
	営業収益	税引前利益
ファイナンス事業	15,020 前年 +14.3%	4,407 前年 +34.1%
故障保証事業	6,422 前年 +13.7%	551 前年 ▲28.4%
オートモビリティサービス事業	2,944 前年 +64.6%	344 前年 +232.5%
カープレミア事業	871 前年 +186.4%	47 前年 +139.2%

23/3期より  
本部費用等を付加  
実質前年+14.6%

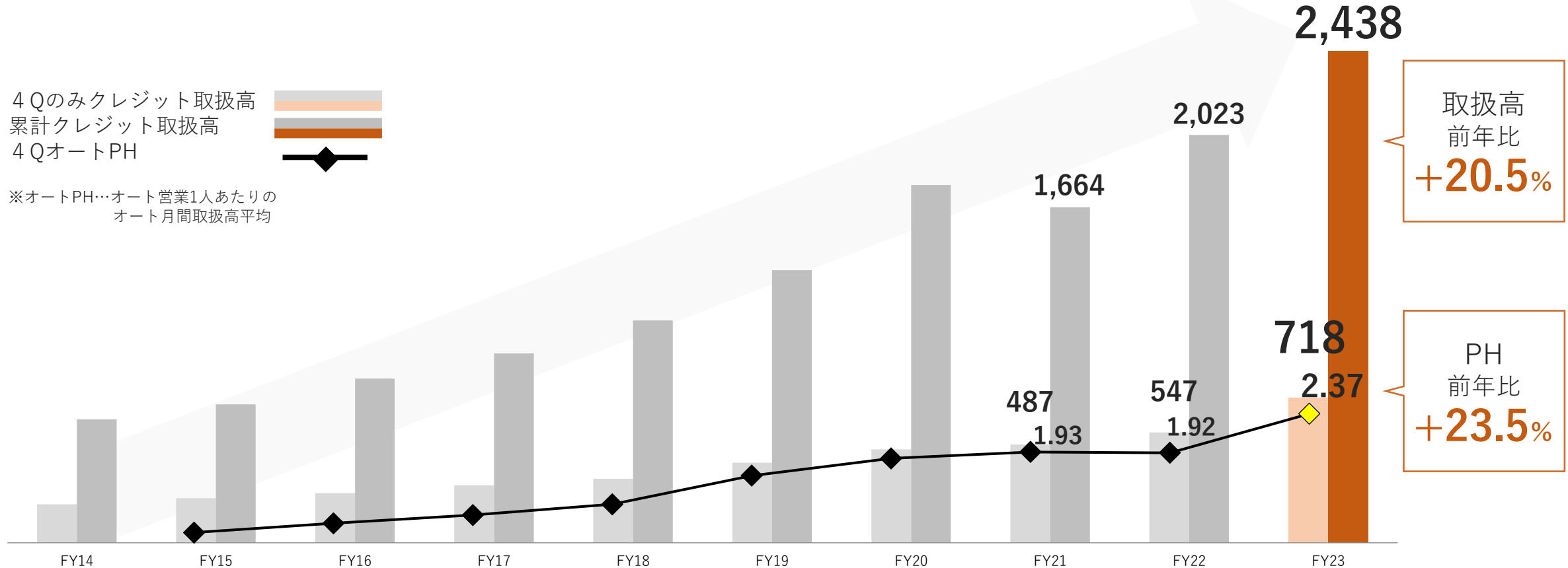


(注) 当期よりセグメント区分を変更したため、前期のセグメント別損益は、実務上可能な範囲でのみ反映しております。



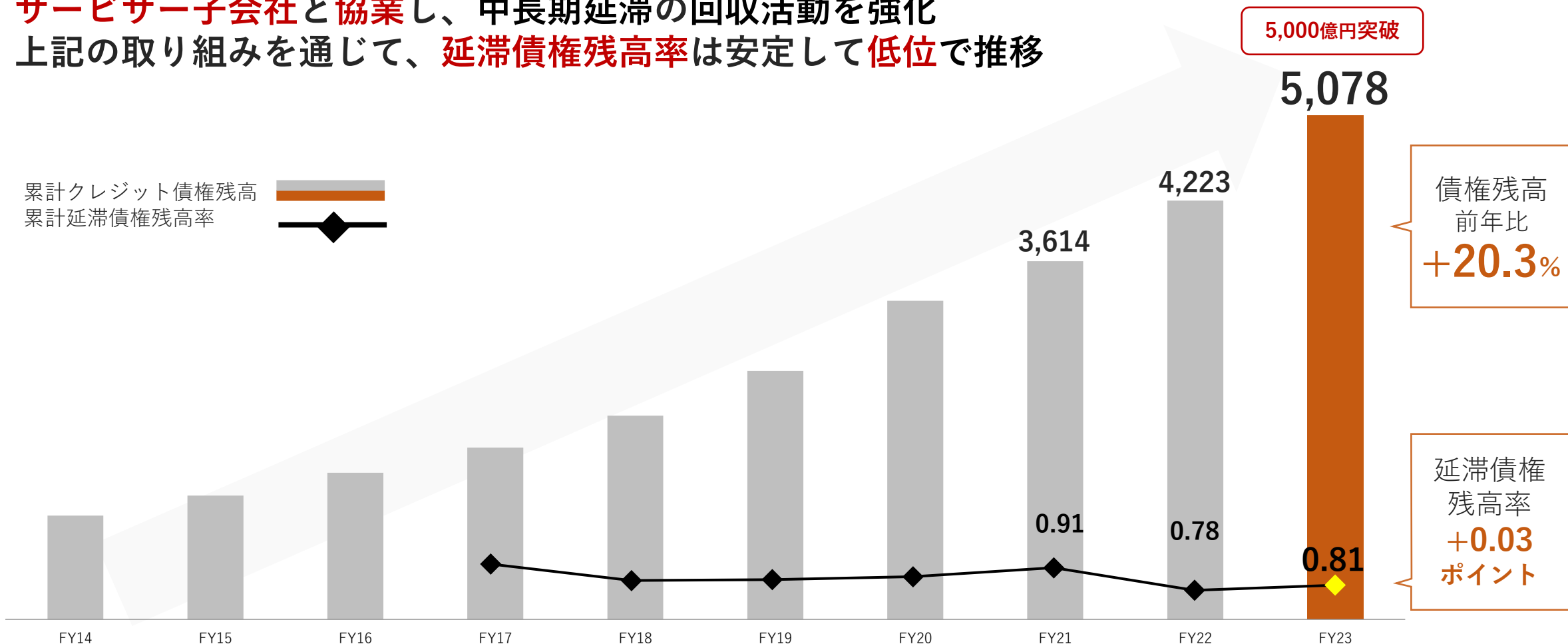
## 2. ファイナンス事業

- マーケットが伸び悩む中、**取扱高は前年 +20.5%**で伸長
- **オートPHが2億円**を突破。引き続き営業の**効率化**を推進
- 販売店の**有料会員化**(カープレミアディーラー)による**囲い込み**を行い、  
当社の**競争優位性**を堅持しながら、**取扱高を拡大**させていく取り組みを継続



(注) 1. クレジット取扱高とは、その期間で新たに締結したクレジット契約及びリース保証契約金額の総額です。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の取扱高も含めた値であり、プレミア(株)の実績です。  
 2. PHとは、オート営業人員1人あたりの月間取扱高平均です。月間取扱高とは、1ヶ月の間に新たに締結したオートのクレジット契約金額をいい、クレジット契約金額とは、商品代金残金及び分割払手数料の合計額をいいます。なお、PHはプレミア(株)の実績です。  
 3. 2021年3月期は新型コロナウイルス感染症の拡大により営業自粛を行ったため、一時的に取扱高が減少しております。

- クレジット債権残高**5,000億円**を突破し、前年**+20.3%**で伸長
- **DX施策**により効率的な架電を実現し、初期延滞の解消を継続
- **サービサー子会社と協業**し、中長期延滞の回収活動を強化
- 上記の取り組みを通じて、**延滞債権残高率**は安定して**低位**で推移



(注) 1. クレジット債権残高とは、開業から期末までの累計取扱高のうち、当該時点において返済されていない又は保証期間が経過していないクレジット契約金額及びリース保証契約金額の総額をいいます。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の債権残高も含めた値であり、プレミア例の実績です。  
 2. 延滞債権残高率とは、当該期末時点のクレジット及びリース債権残高に対し、延滞月数が3ヵ月を超える債権及び特別債権（司法介入債権）の合計額が占める割合をいいます。

- 新規加盟店の開拓を継続するも、既存加盟店への**有料会員移行促進**を優先的に実施
- 今期同様、来期についても大幅な営業人員の増員は予定なし  
**仕組み化**や**営業活動の効率化**で取扱高増加を目指す

加盟店社数

前年比  
+6.3%

26,958社

うち、  
カープレミアディーラー数/割合  
2,581社/9.6%

- ・新規加盟店の開拓は継続
- ・**有料会員移行促進**により稼働促進及び**シェア拡大**に努める

営業人員数

前年比  
+5名

100名

- ・**有料会員化**や**プラットフォーム構想**等の**仕組み化**で取扱高を伸長させる

ペーパーレス導入率

前年比  
+9.4ポイント

96.4%

- ・ペーパーレス促進活動を継続し、**効率的な営業活動**を実現させる

AI審査導入率

前年比  
+21.2ポイント

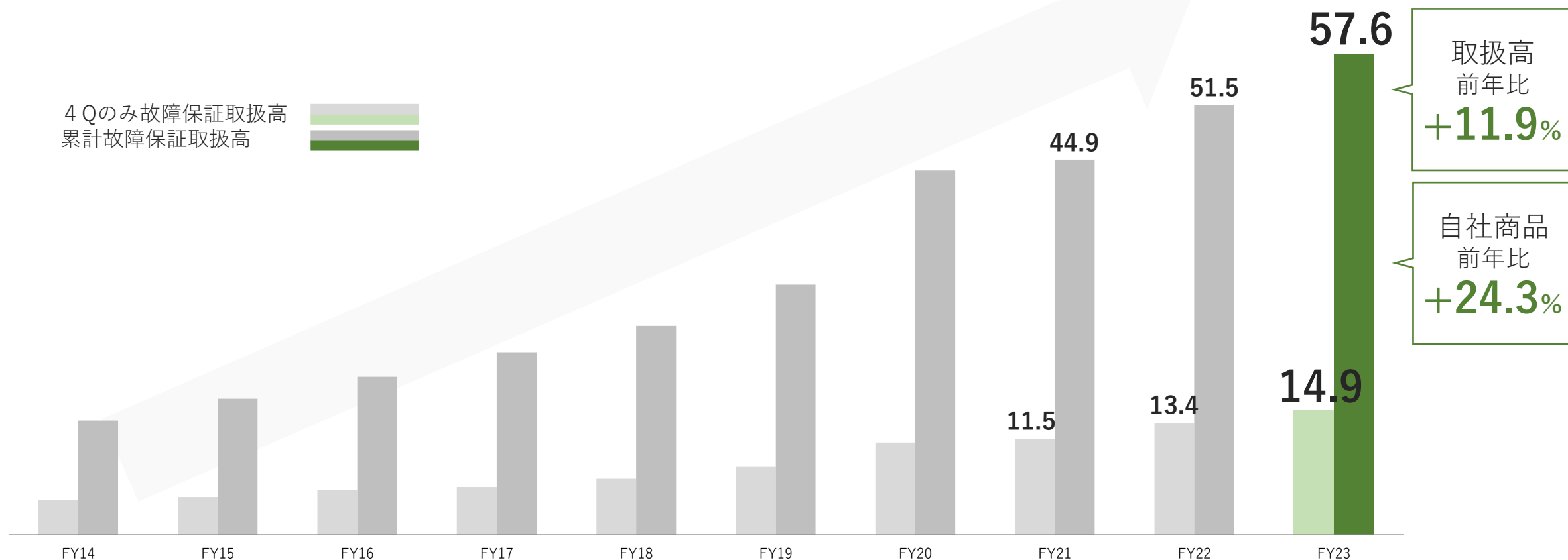
39.1%

- ・自動審査条件の拡大を実施し、導入率の上昇に寄与
- ・審査の**精度**をさらに向上させAI審査対象案件を**増加**させる



### 3. 故障保証事業

- マーケットが伸び悩む中、故障保証全体の**取扱高**は前年**+11.9%**
- **自社商品**の取扱高は前年**+24.3%**と継続的に伸長
- **カープレミアクラブ**への**移行促進**を開始し、保証サービスの取扱高増加を目指す

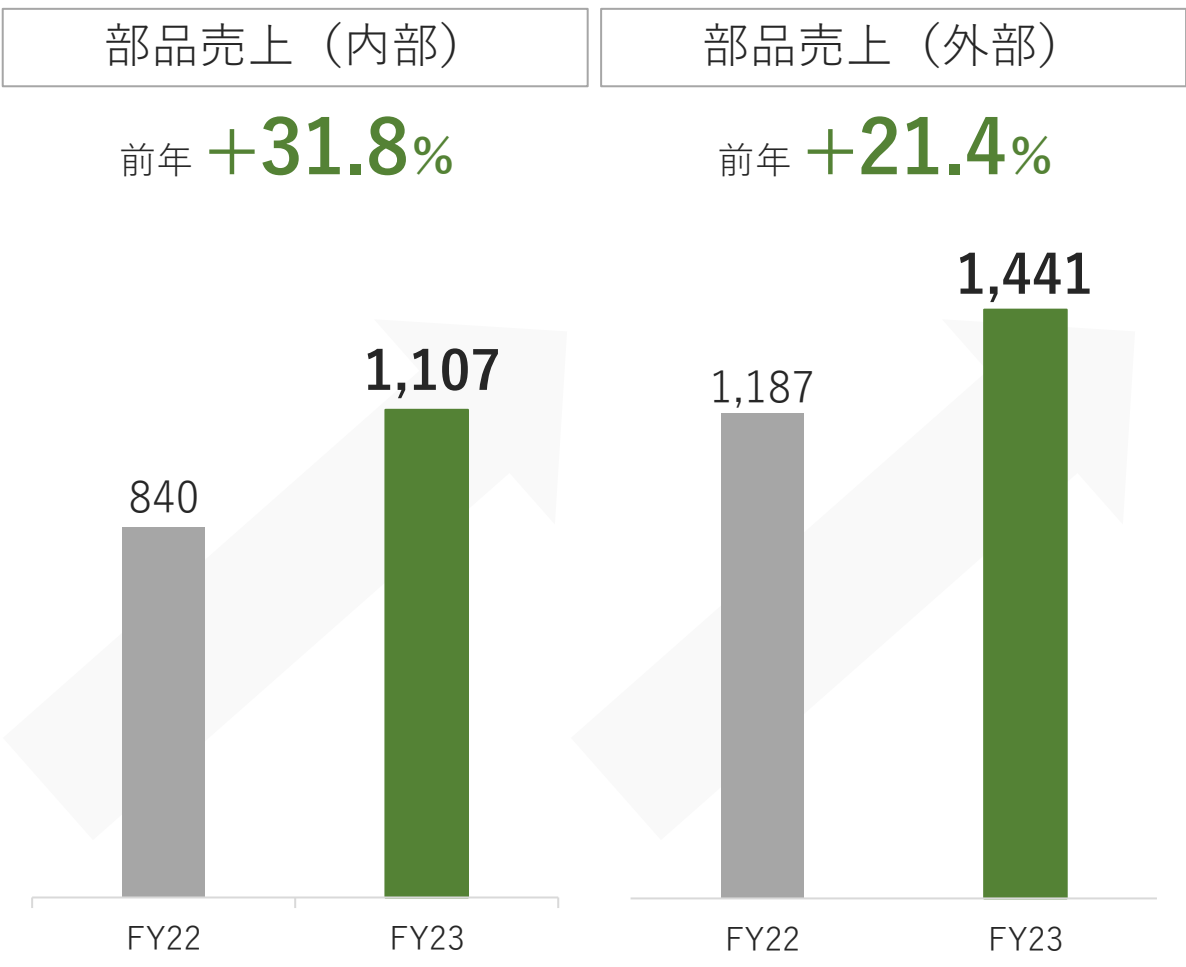
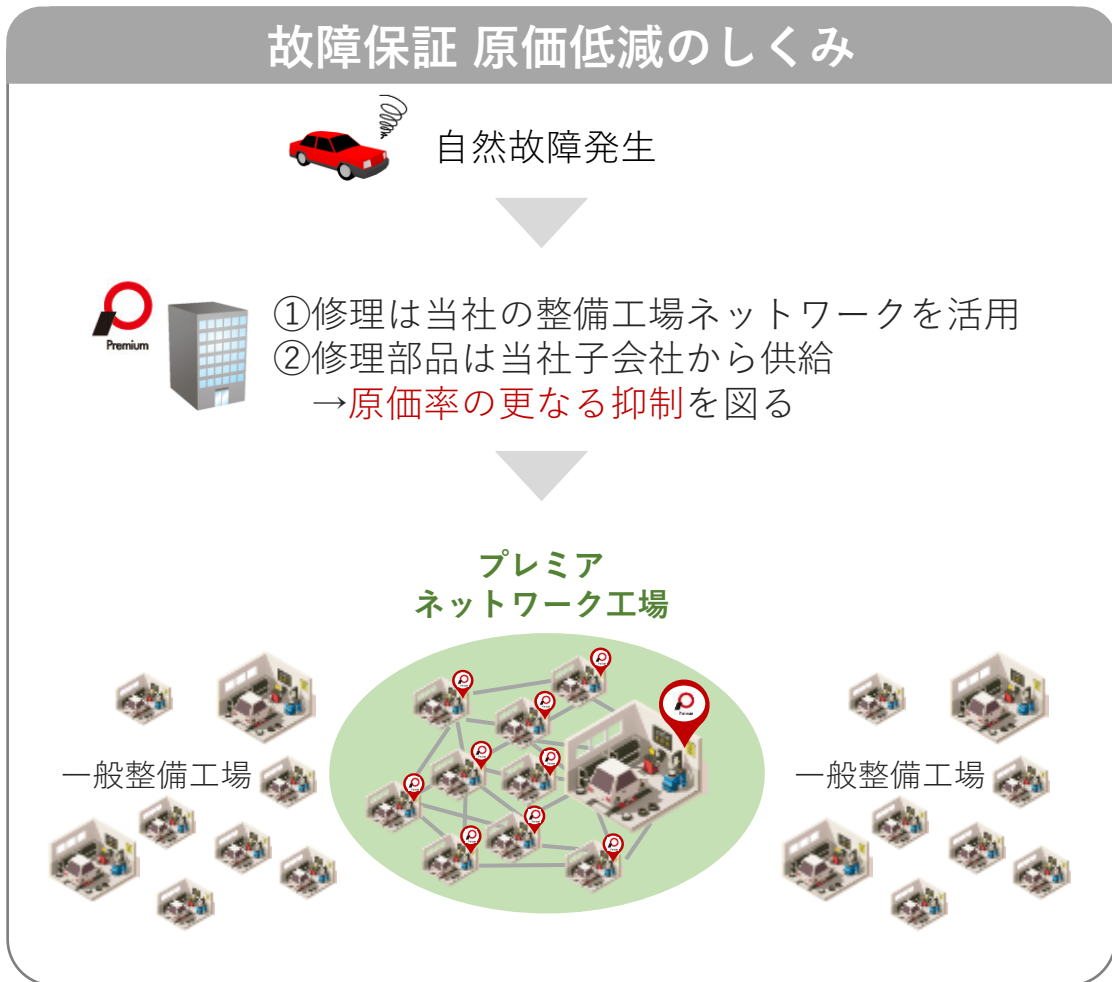


(注) 1. 故障保証取扱高とは、その期間で新たに締結した保証契約金額の総額です。  
 2. 2022年3月期第3四半期に一部商品の取扱高の集計基準の見直しを行い、新基準を適用して記載しております。



- **取扱部品を拡充**することで、保証修理の提供部品（部品売上内部）**増加**、及び整備工場ネットワークへの在庫促進により、**原価率の低減**
- グループ間取引以外での部品販売（部品売上外部）も**取扱部品を拡充**することで**継続して伸長**

## 故障保証 原価低減のしくみ

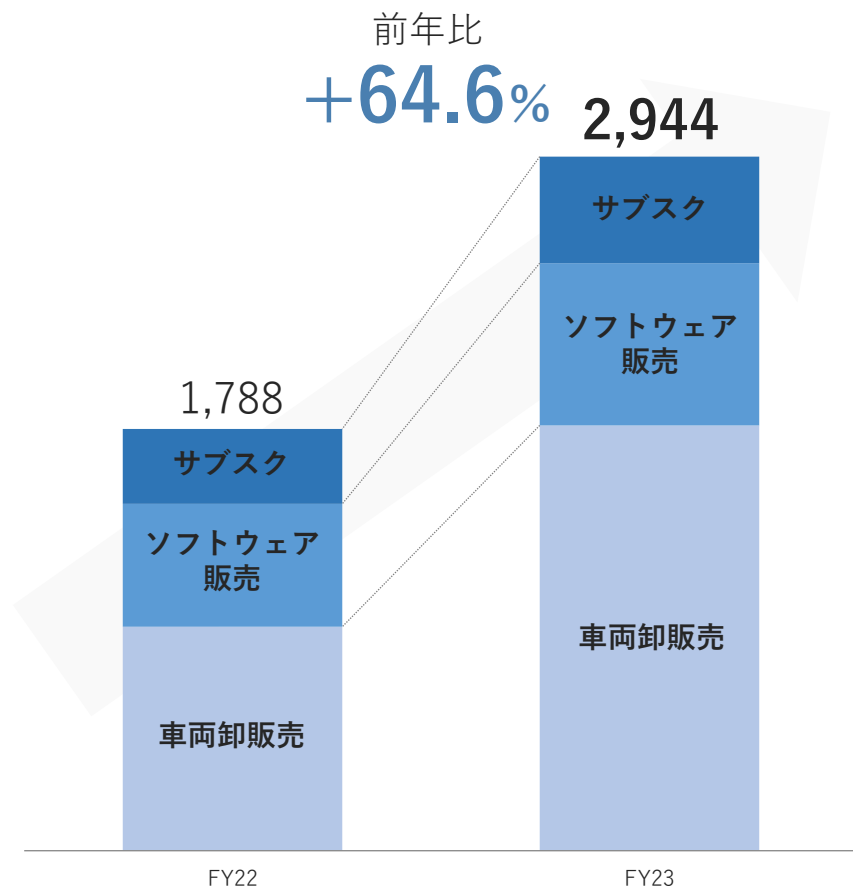




## 4. オートモビリティサービス事業

- 有料会員向けサービスの開発や新規事業に注力
- プレミア加盟店向けのソフトウェア販売及び車両卸販売が売上増加に寄与
- カープレミアサイトのサービスを拡充し、有料会員への送客強化に繋げる

オートモビリティサービス事業 営業収益



### サブスク (リース)

前年比  
**+43.0%**

カープレミアクラブ会員の増加により  
プロパーリースの営業収益が拡大

### ソフトウェア販売

前年比  
**+31.8%**

プレミア加盟店に対する営業強化により  
営業収益が拡大

### 車両卸販売

前年比  
**+89.9%**

カープレミア内の流通量が増加し、  
営業収益が拡大

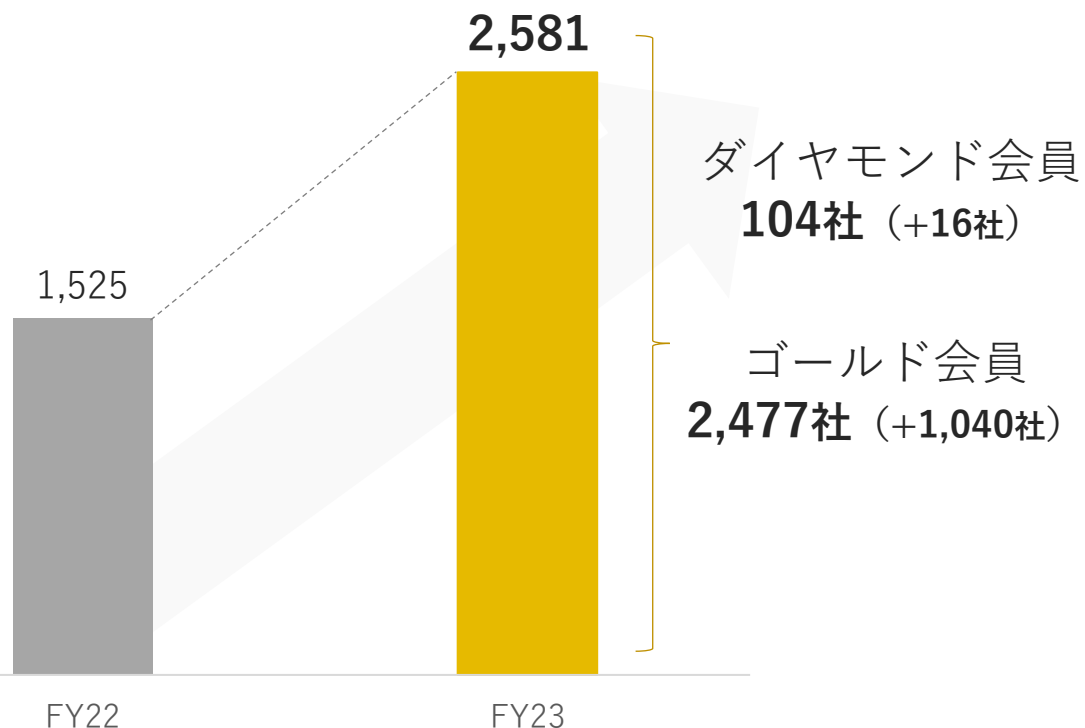


## 5. カープレミア事業

- 自動車販売店、整備工場の有料会員組織「カープレミアクラブ」を順調に構築
- カープレミアディーラー会員数**2,500社**突破
- サービスの拡充により、有料会員へのアップセル及び会員の**拡大/会費収入の増加**を目指す

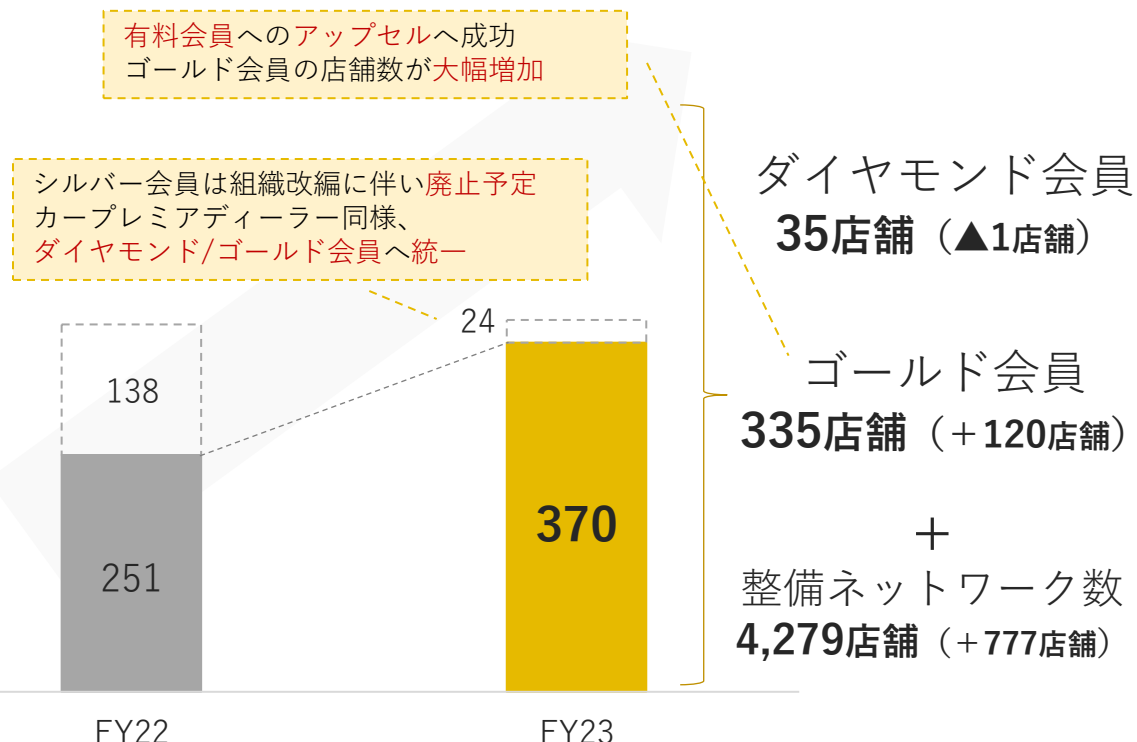
カープレミアディーラー

前年 **+1,056社**



カープレミアガレージ

前年 **+119店舗**





## 6. 2024年3月期 業績・配当予想

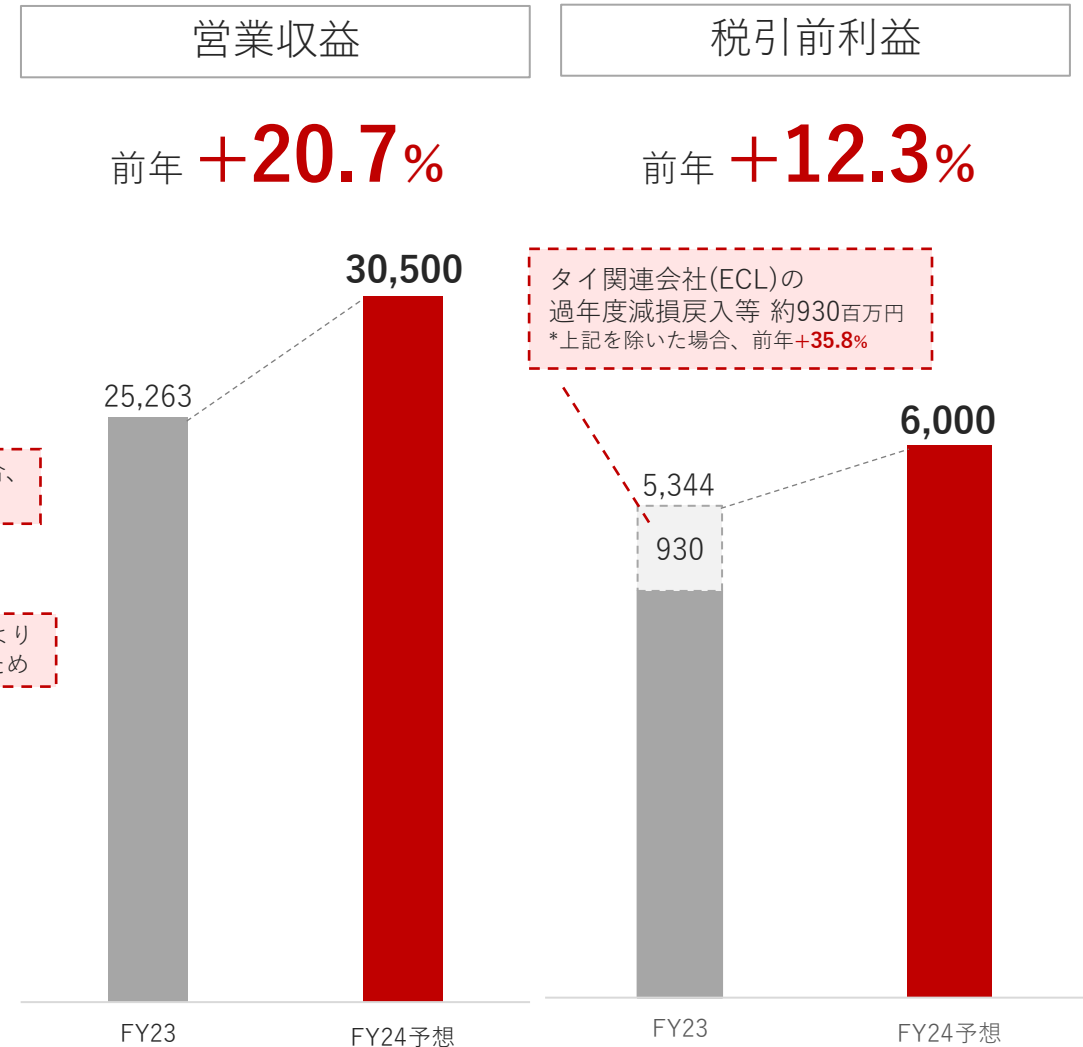
# 2024年3月期 業績・配当予想



(単位：百万円)

- 営業収益は**305億円**、税引前利益は**60億円**、**7期連続増収増益**
- 年間配当は通期で**5円の増額**

	2023年3月期	2024年3月期予想	
		前年比(増減)	前年比(率)
営業収益	25,263	30,500	+5,237 +20.7%
税引前利益	5,344	6,000	+656 +12.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	4,005	4,200	+195 +4.9%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	103.45	107.37	+3.92 +3.8%
年間配当額 (円)	21	26	+5 +23.8%



(注) 1. 上記の連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。  
2. 23/3期の税金費用はタイ関連会社 (ECL) 過年度減損戻入等の一過性利益により、実効税率25%での計算となっております。



## 7. 新 中期経営計画 -ONE&ONLY 2026-



# 中期経営計画「ONE & ONLY 2026」 Summary


## 中期ビジョン

ONE & ONLYのオートモビリティ企業を目指して、  
カープレミア事業モデルの確立

## 数値目標

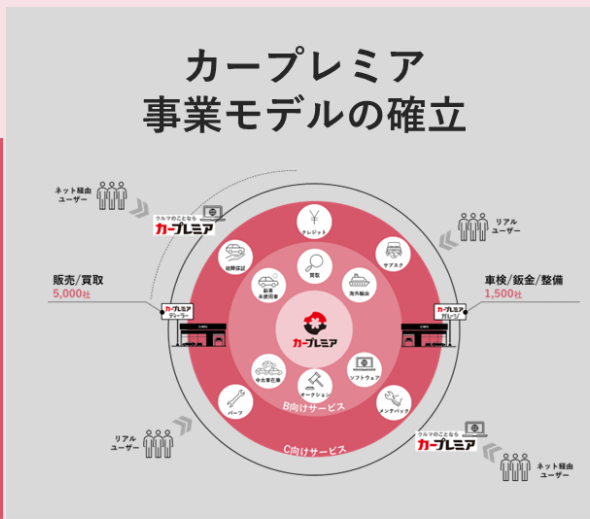
営業収益	税引前利益	当期利益	ROE	時価総額
<b>440億円</b> 23/3比 +74.6%	<b>102億円</b> 23/3比 +91.0%	<b>70億円</b> 23/3比 +75.0%	<b>30%台</b> 23/3実績 34.7%	<b>1,400~1,750億円</b> 23/3比 204~255%




## 重要課題

 **カープレミア**


- ・カープレミアクラブの拡大
- ・カープレミアブランドの確立
- ・リアル/ネットの集客力強化

**カープレミア事業モデルの確立**



 <b>ファイナンス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カープレミアディーラーを拡大</li> <li>・加盟店当たりの取引量増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取扱拡大</li> <li>・DX人材の強化</li> <li>・DXへ継続投資</li> <li>↓</li> <li>・DX推進による業務効率化および省力化実現</li> </ul>
 <b>故障保証</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者保証市場の拡大 - 自社商品中心に拡販</li> <li>・修理原価の低減</li> </ul>	
 <b>モビリティサービス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モビリティサービスの拡充</li> <li>・モビリティ各事業の規模拡大</li> <li>・差別化商品の開発</li> </ul>	

カープレミア事業モデルの確立に向けて、セグメントの見直しを予定  
 オートモビリティサービス/カープレミア事業を統合し、更なるグループ間シナジーの創出を目指す



## カープレミア

### ファイナンス事業

#### プレミア(株)

オートクレジットを中心としたファイナンス事業  
の運営・統括

#### 中央債権回収(株)

債権回収, 車輛引揚事業

#### Eastern Commercial Leasing p.l.c. \*

オートクレジット, 故障保証事業  
(タイ証券取引所上場)

### 故障保証事業

#### プレミアワランティサービス(株)

故障保証事業の運営・統括

#### プレミアオートパーツ(株)

オートパーツ関連事業

#### Premium Service (Thailand) Co.,Ltd

タイにおける自動車整備, 故障保証事業

#### PT Premium Garansi Indonesia \*

インドネシアにおける故障保証事業

#### Premium Warranty Services Philippines, Inc. \*

フィリピンにおける故障保証事業

### オートモビリティサービス事業

#### プレミアモビリティサービス(株)

オートモビリティサービス事業の運営・統括

#### PLS(株)

個人向けオートリース事業

#### プレミアソフトプランナー(株)

事業者向けソフトウェア開発, 販売事業

#### CIFUT(株) \*

自動車関連IoT装置の開発・提供

#### カープレミア(株)

モビリティ事業者向け会員組織の開拓・運営

#### PAS(株)

自動車整備事業、钣金・塗装事業



## 8. Appendix

社名	プレミアグループ株式会社
証券コード / 市場	7199 / 東京証券取引所市場プライム市場
設立	2015年5月25日 ※2007年 プレミア株式会社設立（旧社名：株式会社ジー・ワンクレジットサービス）
本社	東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー
代表取締役社長	柴田 洋一
発行済株式数	40,327,770株 2023年3月末時点
資本金	1,674百万円 単体/2023年3月末時点
従業員数	665名 連結/2023年3月末時点（注）臨時雇用者を除く、グループ従業員数
主な株主	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野村証券（野村アセットマネジメント、ノムラインターナショナル）：7.67%</li> <li>・Coupland Cardiff Asset Management：5.97%</li> <li>・三井住友トラスト・アセットマネジメント、日興アセットマネジメント：4.13%</li> </ul> <p style="text-align: right;">（2023年2月8日時点 大量保有報告書等を参照）</p>
グループ内業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイナンス事業</li> <li>・故障保証事業</li> <li>・オートモビリティサービス事業</li> <li>・カープレミア事業（自動車販売店、整備工場の会員組織構築）</li> <li>・海外（タイ王国、インドネシア共和国、フィリピン共和国等）におけるファイナンス事業、故障保証事業、オートモビリティサービス事業</li> </ul>

プレミアグループは、自動車販売店や整備工場の皆さまと一緒にお客様に豊かなカーライフを届ける**オートモビリティ企業**です。

## 主力事業

### ファイナンス事業

▷ 主な事業

- ・オートクレジット
- ・エコロジークレジット
- ・ショッピングクレジット
- ・サービサー

▷ 主な取引先

- ・自動車販売店

### オートモビリティサービス事業

▷ 主な事業

- ・業務用ソフトウェア販売
- ・自動車卸売販売
- ・オートリース

▷ 主な取引先

- ・整備工場

### 故障保証事業

▷ 主な事業

- ・自動車の故障保証事業
- ・故障保証事業の海外展開  
(タイ、インドネシア、フィリピン)
- ・国内外への中古パーツ販売

▷ 主な取引先

- ・自動車販売店、整備工場

### カープレミア事業

▷ 主な事業

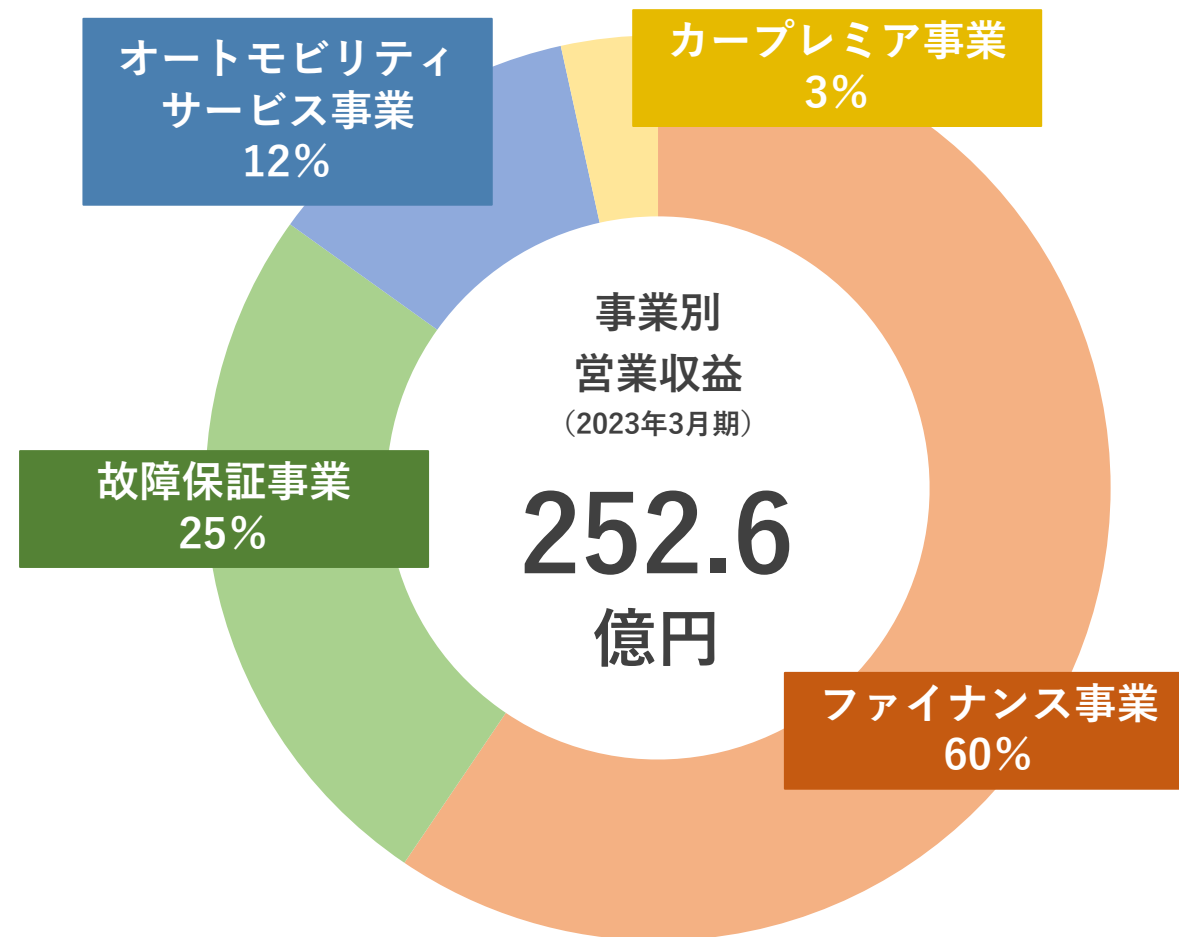
- ・会員組織の開拓/推進事業
- ・自社整備工場の運営

▷ 主な取引先

- ・自動車販売店、整備工場

※2022年4月1日より開始

## 事業ポートフォリオ (23年3月期)



DX戦略の策定から約1年で社内外のDX施策の**基盤を構築し**、  
「**DX注目企業2022**」「**DX認定事業者**」の認定を取得  
エンドユーザーとモビリティ事業者を繋ぐ、**プラットフォーム構想の実現**を目指す

## DXビジョンの達成

2022年6月  
経済産業省が定める  
「**DX注目企業2022**」に選定

2022年5月  
経済産業省が定める  
「**DX認定事業者**」  
の認定を取得

2022年4月  
加盟店専用ポータルサイト  
「**P-Gate**」リニューアル

2021年5月  
デジタル・トランス  
フォーメーション  
(DX) 戦略策定

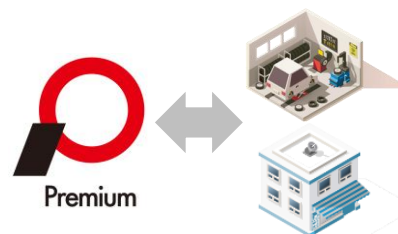
## エンドユーザー向けDX



2022年7月22日に  
お客様向けサイトがオープン

- ▼サイトでは…
- ・当社が提供する様々なサービスからクルマの乗り方をご提案
  - ・充実したアフターサポート

## モビリティ事業者向けDX



モビリティ事業者向け  
ポータルサイトのログイン率

※2023年3月末時点

- ・加盟店全体：94.6%
  - ・カープレミアディーラー：88.4%
- 販売店とのコミュニケーション  
ツールとして機能

※2022年10月よりログイン率の算出方法を一部変更しております。

# (FY23.3Q)外部環境の変化に対する当社の対応

- **為替変動**については、外貨建取引が極めて僅少
- **金利上昇、インフレ**については機動的に対応



業績への影響は**殆どなし**

## ① 為替変動



外貨建取引は**僅少**  
→ 影響は**殆どなし**

## ② インフレ・物価高



機動的に**手数料・商品価格を改定**  
→ 影響は**殆どなし**

## ③ 金利上昇

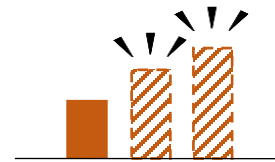
### オートローン調達金利

> **契約済**の債権



貸出・調達ともに  
**固定金利**  
→ 影響なし

> **新規**に契約する債権



機動的に**金利等に転嫁**  
→ 影響は**殆どなし**

### 財務戦略



- ・ **固定金利**での調達割合を増加
- ・ 資金調達手段の**多様化**を推進  
(債権流動化・社債・CP等)



更に**低利・安定的な**  
資金調達を実現



- タレントを起用。露出度を高めて「カーププレミア」の認知拡大を実施  
→ 「カーププレミア」ブランドの醸成を通じて、Web集客の強化、有料会員組織の拡大を加速

## タレント起用



## GENERATIONS from EXILE TRIBE をキャスティング

挑戦することや冒険する気持ちを失わず、  
高みを目指す姿が  
当社が目指す企業イメージとマッチ

**ネット・リアル両面**での  
広告展開による知名度向上

TVCM/WEBCM/交通広告等の実施  
コラボレーショングッズの活用



	FY22 (2022年3月31日)	FY23.1Q (2022年6月30日)	FY23.2Q (2022年9月30日)	FY23.3Q (2022年12月31日)	FY23 (2023年3月31日)	前期末比	前Q比
<b>資産の部</b>							
現金及び現金同等物	11,433	10,040	11,796	10,437	14,857	+30.0%	+42.3%
金融債権	35,733	37,314	39,301	41,190	45,003	+25.9%	+9.3%
その他の金融資産	5,786	6,114	6,306	6,586	6,758	+16.8%	+2.6%
有形固定資産	3,648	3,415	3,439	3,282	3,074	△15.7%	△6.3%
無形資産	6,279	6,678	7,108	7,586	7,930	+26.3%	+4.5%
のれん	3,958	3,958	3,958	3,958	3,958	+0.0%	+0.0%
持分法投資	1,600	1,647	2,497	2,546	2,624	+64.0%	+3.0%
繰延税金資産	3	3	4	3	5	+44.4%	+77.0%
保険資産	3,284	3,814	3,776	4,432	4,465	+35.9%	+0.7%
その他の資産	10,075	9,631	9,293	9,485	13,317	+32.2%	+40.4%
資産合計	81,800	82,616	87,477	89,505	101,992	+24.7%	+14.0%
<b>負債の部</b>							
金融保証契約	30,065	31,718	33,342	34,675	36,818	+22.5%	+6.2%
借入金	23,759	23,396	23,236	24,498	31,682	+33.3%	+29.3%
その他の金融負債	7,248	6,841	7,352	6,359	7,879	+8.7%	+23.9%
引当金	366	341	373	363	363	△0.7%	+0.1%
未払法人所得税	720	192	607	293	603	△16.2%	+106.2%
繰延税金負債	1,238	1,371	1,453	1,484	1,305	+5.4%	△12.1%
その他の負債	8,590	8,343	8,860	9,053	9,935	+15.7%	+9.7%
負債合計	71,987	72,203	75,223	76,724	88,585	+23.1%	+15.5%
<b>資本の部</b>							
親会社の所有者に帰属する持分							
資本金	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	+0.0%	+0.0%
資本剰余金	1,295	1,347	1,359	1,371	1,415	+9.3%	+3.2%
利益剰余金	7,722	8,228	10,029	10,498	11,006	+42.5%	+4.8%
自己株式	△1,201	△1,150	△1,129	△1,100	△1,088	△9.4%	△1.1%
その他の資本の構成要素	194	259	268	281	343	+76.9%	+21.9%
親会社の所有者に帰属する持分合計	9,710	10,385	12,228	12,751	13,376	+37.7%	+4.9%
非支配持分	103	28	27	30	31	△69.8%	+2.6%
資本合計	9,814	10,413	12,254	12,781	13,407	+36.6%	+4.9%
負債及び資本合計	81,800	82,616	87,477	89,505	101,992	+24.7%	+14.0%

# PL (連結累計期間)



(単位：百万円)

連結累計期間	FY22 (2021年4月1日～ 2022年3月31日)	FY23 (2022年4月1日～ 2023年3月31日)	前年同期比
営業収益	20,888	<b>25,263</b>	+20.9%
営業費用	17,024	<b>21,018</b>	+23.5%
営業利益	3,864	<b>4,245</b>	+9.9%
持分法による投資利益	213	<b>1,075</b>	+405.0%
その他の金融収益	3	<b>59</b>	+1951.0%
その他の金融費用	63	<b>35</b>	△45.1%
税引前当期利益	4,017	<b>5,344</b>	+33.0%
法人所得税費用	1,053	<b>1,330</b>	+26.3%
当期利益	2,964	<b>4,014</b>	+35.4%
当期利益の所属			
親会社の所有者に帰属する利益	2,941	<b>4,005</b>	+36.2%
非支配持分に帰属する利益	23	<b>9</b>	△61.8%

# PL (連結累計期間／営業収益・営業費用)



(単位：百万円)

連結累計期間	FY22 (2021年4月1日～ 2022年3月31日)	FY23 (2022年4月1日～ 2023年3月31日)	前年同期比
営業収益			
金融収益	10,615	12,576	+18.5%
金融資産の減損利得	435	293	△32.7%
故障保証関連収益	5,595	6,357	+13.6%
その他手数料売上	2,099	2,277	+8.5%
オートモビリティ関連売上	1,482	2,504	+69.0%
保険履行収益	224	246	+9.7%
その他	438	1,010	+130.4%
合計	20,888	25,263	+20.9%

連結累計期間	FY22 (2021年4月1日～ 2022年3月31日)	FY23 (2022年4月1日～ 2023年3月31日)	前年同期比
営業費用			
金融費用	149	191	+27.9%
支払保証料	2,282	2,619	+14.7%
故障保証関連原価	3,407	3,881	+13.9%
オートモビリティ関連原価	995	1,789	+79.7%
従業員給付費用	4,591	4,942	+7.6%
システム運営費	801	825	+3.0%
減価償却費及び償却費	1,294	1,419	+9.6%
租税公課	686	861	+25.4%
支払手数料	959	1,114	+16.2%
地代家賃	47	64	+35.2%
業務委託料	577	797	+38.1%
その他営業費用	1,233	2,516	+104.0%
合計	17,024	21,018	+23.5%

(注) FY22の営業収益・費用は表示方法の変更により、一部組替をしております。

# PL (連結会計期間)



(単位：百万円)

連結会計期間	FY22.4Q (2022年1月1日～ 2022年3月31日)	FY23.1Q (2022年4月1日～ 2022年6月30日)	FY23.2Q (2022年7月1日～ 2022年9月30日)	FY23.3Q (2022年10月1日～ 2022年12月31日)	FY23.4Q (2023年1月1日～ 2023年3月31日)	前年同期比	前Q比
営業収益	5,527	5,719	6,168	6,499	6,878	+24.4%	+5.8%
営業費用	4,475	4,616	4,896	5,338	6,169	+37.9%	+15.6%
営業利益	1,052	1,103	1,272	1,161	709	△32.6%	△38.9%
持分法による投資利益	104	63	936	25	52	△50.6%	+108.0%
その他の金融収益	△23	1	122	△21	△44	+91.2%	+115.1%
その他の金融費用	36	9	26	△13	12	△66.1%	△194.5%
税引前当期(四半期)利益	1,097	1,157	2,304	1,178	704	△35.8%	△40.2%
法人所得税費用	192	312	504	318	196	+1.6%	△38.5%
当期(四半期)利益	905	845	1,801	860	509	△43.8%	△40.9%
当期利益の所属							
親会社の所有者に帰属する利益	894	841	1,801	856	508	△43.2%	△40.7%
非支配持分に帰属する利益	10	4	△0	4	1	△90.2%	△74.0%

(注) FY22の営業収益・費用は表示方法の変更により、一部組替をしております。



(単位：百万円)

# PL (連結会計期間／営業収益・営業費用)

連結会計期間	FY22.4Q (2022年1月1日～ 2022年3月31日)	FY23.1Q (2022年4月1日～ 2022年6月30日)	FY23.2Q (2022年7月1日～ 2022年9月30日)	FY23.3Q (2022年10月1日～ 2022年12月31日)	FY23.4Q (2023年1月1日～ 2023年3月31日)	前年同期比	前Q比
営業収益							
金融収益	2,777	2,962	3,080	3,231	3,302	+18.9%	+2.2%
金融資産の減損利得	56	55	117	112	8	△85.2%	△92.6%
故障保証関連収益	1,418	1,532	1,594	1,615	1,617	+14.0%	+0.1%
その他手数料売上	528	543	559	579	596	+12.9%	+2.9%
オートモビリティ関連売上	474	443	531	656	874	+84.2%	+33.2%
保険履行収益	115	-	121	-	125	+8.6%	-
その他	157	184	165	306	355	+126.2%	+16.3%
合計	5,527	5,719	6,168	6,499	6,878	+24.4%	+5.8%

連結会計期間	FY22.4Q (2022年1月1日～ 2022年3月31日)	FY23.1Q (2022年4月1日～ 2022年6月30日)	FY23.2Q (2022年7月1日～ 2022年9月30日)	FY23.3Q (2022年10月1日～ 2022年12月31日)	FY23.4Q (2023年1月1日～ 2023年3月31日)	前年同期比	前Q比
営業費用							
金融費用	39	47	46	48	50	+27.4%	+4.2%
支払保証料	595	617	643	667	692	+16.2%	+3.7%
故障保証関連原価	804	911	1,042	1,025	903	+12.3%	△12.0%
オートモビリティ関連原価	325	305	343	473	668	+105.2%	+41.2%
従業員給付費用	1,226	1,120	1,225	1,274	1,323	+8.0%	+3.9%
システム運営費	192	199	195	201	231	+19.8%	+14.6%
減価償却費及び償却費	349	350	340	361	368	+5.5%	+2.1%
租税公課	171	218	189	198	255	+49.6%	+28.6%
支払手数料	257	275	301	291	247	△3.7%	△15.2%
地代家賃	12	14	14	16	20	+71.0%	+21.4%
業務委託料	156	170	177	182	268	+72.0%	+47.3%
その他営業費用	349	390	381	601	1,144	+227.6%	+90.5%
合計	4,475	4,616	4,896	5,338	6,169	+37.9%	+15.6%



# カープレニア

本資料に掲載されているIR情報は、プレミアグループ株式会社及び関係会社（以下当社）の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社は本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。本資料に情報を掲載する際には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に含まれる著作物は、著作権法により保護されており、それらを無断で複製、改編、翻訳、頒布、実演または展示することは禁止されております。本資料への情報の掲載は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。